

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月10日

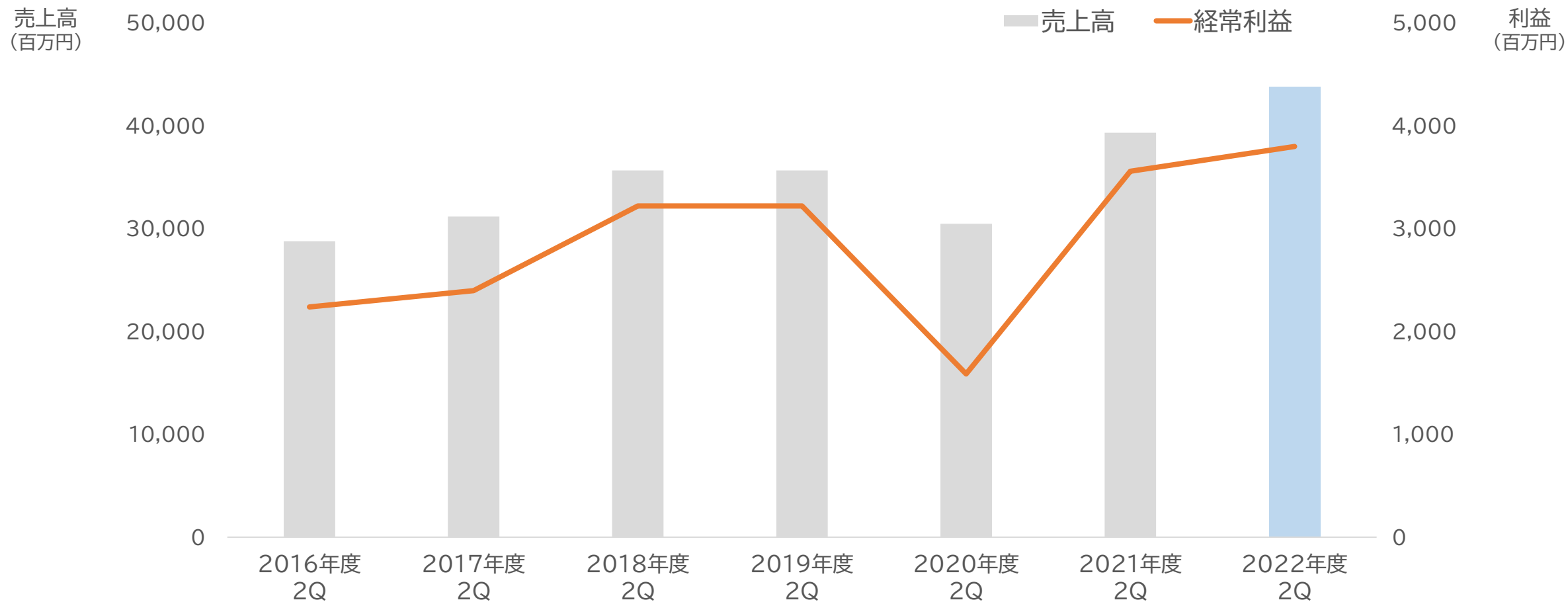
# 2023年3月期 第2四半期連結決算概要

## TOPICS

- 船内作業は減少したものの、沿岸作業および倉庫保管が増加 ↑
- 海外での貨物取扱い好調および円安の影響 ↑
- 外部倉庫賃借料、エネルギー価格上昇に伴う燃料動力費増加等による費用増加 ↓

	2021年度 2Q		2022年度 2Q		増減		2022年度 通期予想	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	増減率	金額 (百万円)	進捗率
■ 売上高	39,287	100.0%	43,711	100.0%	+ 4,423	+ 11.3%	80,000	54.6%
■ 営業利益	3,135	8.0%	3,576	8.2%	+ 441	+ 14.1%	5,700	62.7%
■ 経常利益	3,555	9.1%	3,795	8.7%	+ 240	+ 6.8%	6,250	60.7%
■ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,435	6.2%	2,293	5.2%	△ 141	△ 5.8%	4,000	57.3%

# 連結売上高および経常利益の推移

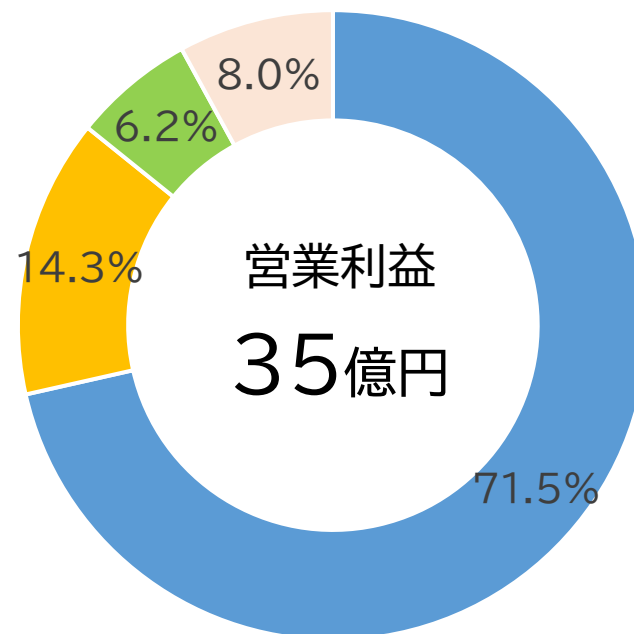
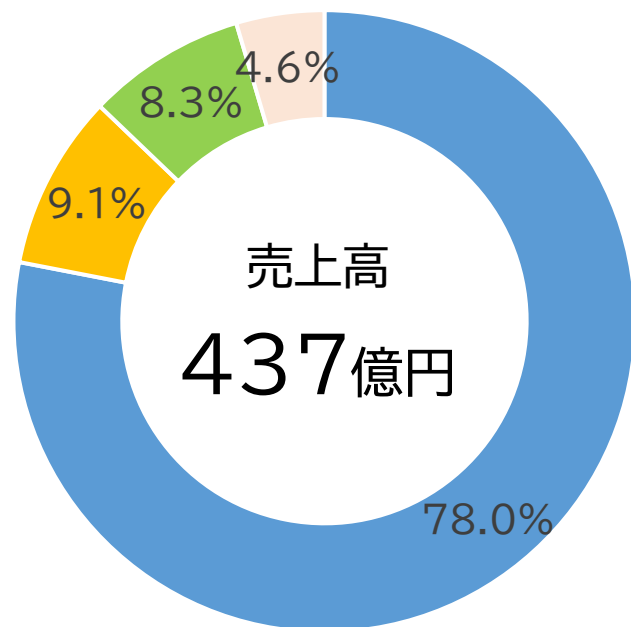


# 部門別売上および主な増減要因

(単位:百万円)

セグメント	部門名	2022年度2Q (前年同期比)	主な増減要因
港湾運送 及び その関連	港湾運送部門	26,506 (+3,766 / +16.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>船内作業は減少したが、沿岸作業が増加</li> <li>海外での貨物取扱い好調に加え、円安が影響</li> </ul>
	倉庫保管部門	5,654 (+1,035 / +22.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外での貨物保管増加</li> <li>国内長期保管貨物の増加</li> </ul>
	陸上運送部門	6,384 (+375 / +6.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼材を中心とした内国貨物輸送の増加</li> <li>欧州域内輸送の増加</li> </ul>
	航空貨物運送部門	2,359 (△905 / △27.7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送需要の低下および海上輸送へのシフトにより減少</li> </ul>
	その他の部門	1,921 (+58 / +3.1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>梱包業務は減少</li> <li>前第3四半期より、タンク事業を開始</li> </ul>
		42,826 (+4,330 / +11.2%)	
賃貸		885 (+93 / +11.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス賃貸面積の増加</li> </ul>

# 連結業績 エリア別割合



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア

## TOPICS

2022年8月

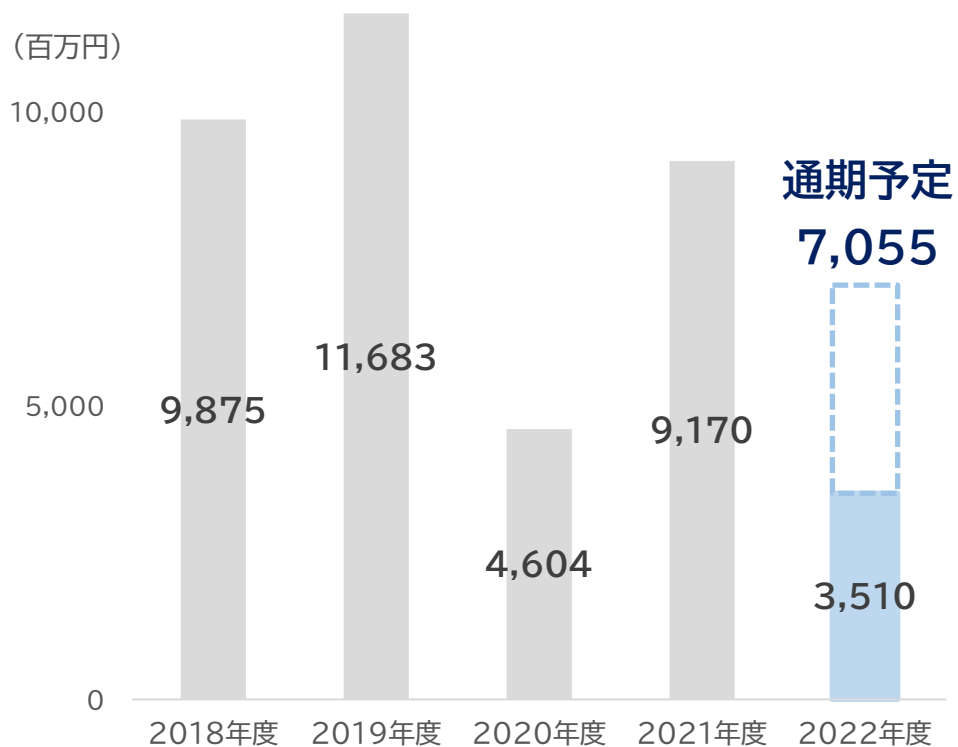
### Meiko America, Inc. アトランタ支店開設

組織体制の強化とネットワークの充実化を図り、米国南東部地域でのサービスレベルを向上



# 設備投資の推移

物流事業の拡充、成長に向けた投資を  
国内及び海外にて継続的に実施



## 当期の主な設備投資

2022年5月竣工

### 西二区物流センター 危険品倉庫 (愛知県飛島村)

需要が高まっている危険品保管  
に対応するため、危険品倉庫  
2棟(内1棟は温度調整機能付  
き)を増築。



2023年1月竣工予定

### 名港タンクデポ (三重県木曾岬町)

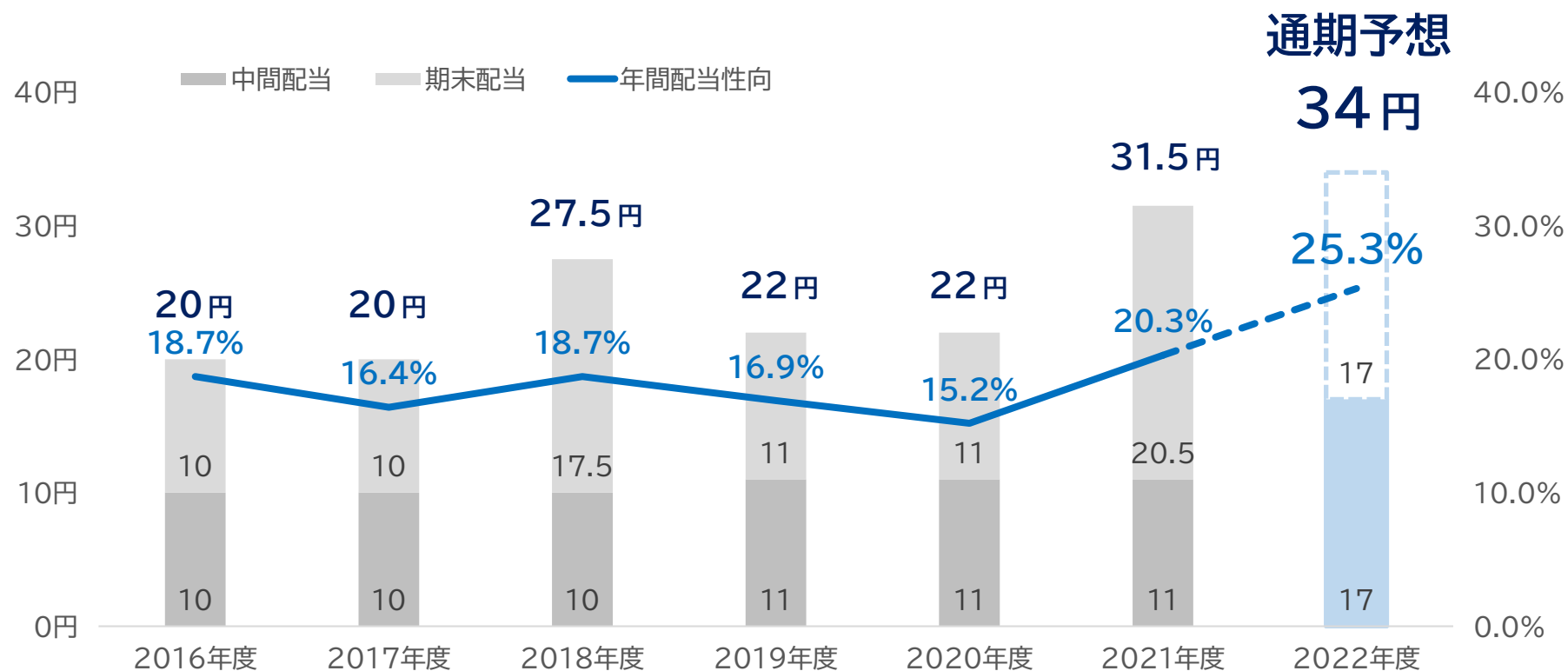
液体輸送用のタンクコンテナ  
およびタンクローリーの洗浄や  
保管、メンテナンスを行うタンク  
事業を2021年10月より開始。  
最新設備を整えた新規拠点を  
建設工事中。





# 配当金および配当性向 推移

将来の事業展開や設備投資、大規模災害等への備えとして内部留保の充実を図りつつ  
安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております



※2022年度の期末・年間配当、年間配当性向は予想値

# その他 トピックス

## データセンター移転

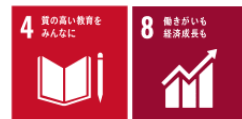


災害時に早期復旧できる強靱なインフラ整備のため、2ヶ所のデータセンターにシステム基盤を分散配置し、業務を停止させない環境を構築しました。

施設は免震構造で非常用発電機を備え、ネットワークが強化されているだけでなく、冷却技術や自然エネルギーの活用により省エネルギーが実現されています。

重要な事業データを守るとともに、有事の際にもお客様の事業継続(BCP)を物流面でサポートできる体制を整えています。

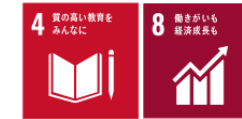
## デジタル人材研修スタート



DX推進が重要と言われる中、ICTに精通した人材の育成を図り、変化に強い企業体質を築くとともに、将来にわたり競争力を確保していくため、デジタル人材育成研修をスタートしました。

第1期受講生として、31名が参加しています。

## ファミリーデー開催



8月に本社オフィス内にて、従業員の家族を対象としたファミリーデー(家族の職場見学)を開催しました。

本イベントは、「従業員同士お互いに大切な家族がいることを意識して尊重し合える職場環境づくり」、親の働く姿に触れて「子供が社会を知るきっかけづくり」を目的として、初めての試みとなりました。

引き続き当社は、従業員の働きがいの向上、ワークライフバランスを推進することで、働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。



## 社員参加型CSR活動



名港ビル食堂を利用する従業員および役員から1食につき10円のCSR寄付金の協力をいただき、同額を会社から上乘せし、食に関するNPO法人に寄付をいたしました。





## 【ご注意】

当資料は、名港海運株式会社(以下、「当社」という)へのご理解を深めていただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載されている将来にわたる事項については、2022年11月10日現在において入手している情報に基づいて、当社が予測および判断したものであり、様々なリスクや不確定要素に左右され異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。当社は、これら将来にわたる事項について、内容の確約・保証および情報を訂正する一切の義務を負いません。

投資・その他のご判断については、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

**TOTAL LOGISTICS PARTNER**

 **MEIKO TRANS**